

# 滝川に (株)上田コンクリート工業所がある



エンジンなどの動力を用いず「滑空」するグライダー

グライダーが美しく空を飛び、安全に地面に降りるためには、  
**適切な「風」**が必要である

温室効果ガスも、私たちが生きていくために重要な存在で、  
**適量に保つ**ことが必要です。

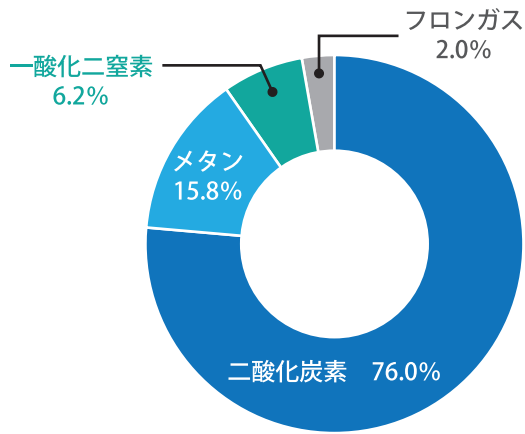
## 宣言

「**100%低炭素コンクリート製品へ**」

～ **2050年カーボンニュートラル**に向けて**削減**～



## 人為起源の温室効果ガスの排出量割合（2010年）



二酸化炭素は、化石燃料やプラスチック等を燃焼する際に空気中に排出されます。

メタンは、家畜がゲップをした時や、天然ガスを採掘するとき等に発生します。

一酸化炭素は、窒素肥料の使用や工業活動によって排出されるガスです。

フロンガスとは、人間が生み出した自然界には存在しない物質です。冷蔵庫やエアコンの冷媒として利用されていましたが、オゾン層を破壊する原因のひとつとされ、現在は製造・輸入が規制されています。

※二酸化炭素の排出量は国によって異なります。

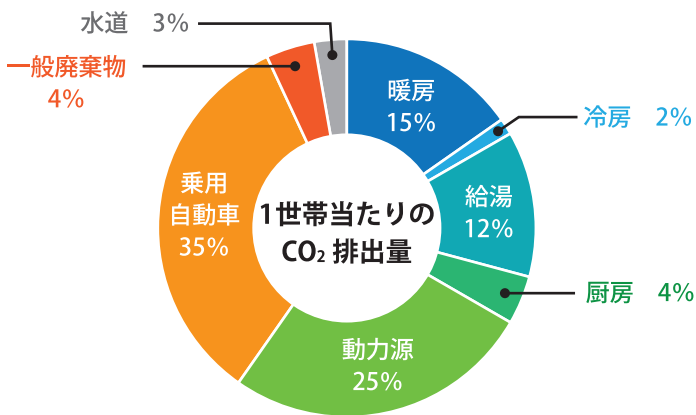


## 森林の減少

植物は、光合成をする際に二酸化炭素を吸収します。1990年から2015年の間に、森林面積は約1.29億ha減少し、その規模は南アフリカの国土の大きさに相当するほどです。



## 家庭生活での二酸化炭素用途別排出量



## 技術革新 (1)

- 弊社バイコン縁石は、従来普通ポルトランドセメントで製造それをCO<sub>2</sub>の発生量が少ない高炉セメントB種を使用し製造する(バイコン縁石製造の単位セメント量は330kg/m<sup>3</sup>)

### セメント1t当りのCO<sub>2</sub>排出量 (単位: kg)

CO <sub>2</sub> 排出源	①ポルトランドセメント CO <sub>2</sub> 排出量	②高炉セメントB種 CO <sub>2</sub> 排出量	CO <sub>2</sub> 削減量 ①-②	CO <sub>2</sub> 削減率 (%) (①-②) / ①
石灰石	479	271	208	43
電力・エネルギー	284	169	115	40
計	763	440	323	42

(2021年セメント協会 HP)

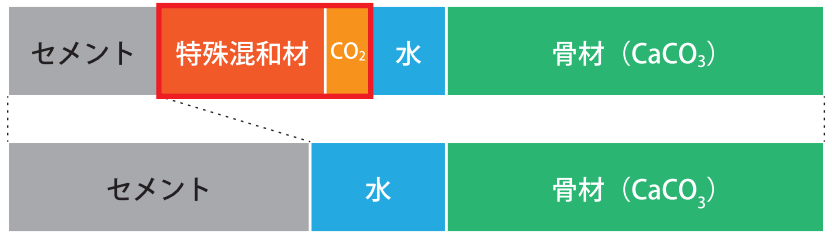


## 技術革新 (2)

- 特殊混和材使用によるセメント量の低減

CO2 排出削減・固定量を  
最大化したコンクリート

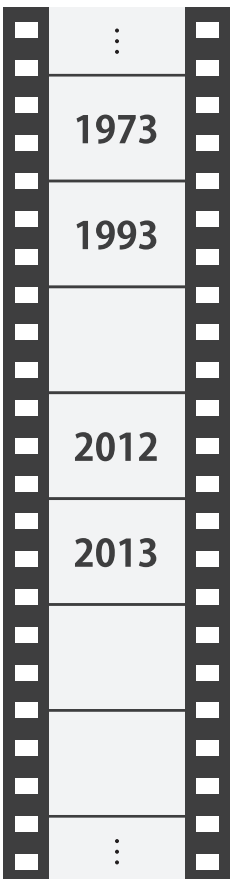
一般的なコンクリート



滝川市丸加高原の大海原



## 弊社 脱炭素の取り組み



1973

北大工学部と提携  
TM管敷設で工期大幅短縮

1993



ガスから  
電気給湯器に入替

2012



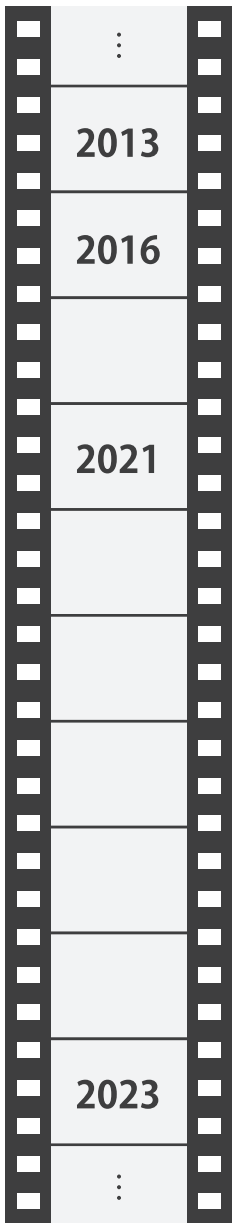
キューピクルを導入し  
北電と省エネを協議

2013



重油からガスボイラへ転換





2013

人感センサーで  
省エネ



2016

ヒバ植林で  
騒音・粉塵対策



2016

蛍光灯を LED に一新



2021

デジタル化による  
ペーパーレスで用紙節約



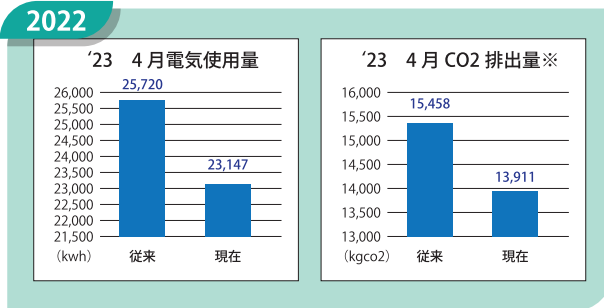
2022

オール電化の  
役員の住い



2022

「休憩室の個室化」に  
よる排ガス削減



2022

'23 4月電気使用量

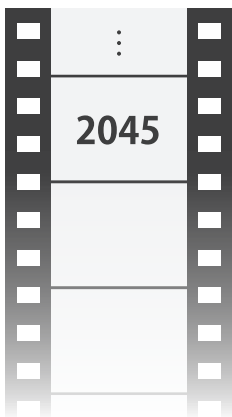
'23 4月CO2排出量※

製造時間の短縮

※CO2 排出量の計算は、CO2 排出係数 0.601 × 電気使用量 = CO2 排出量となる

2023

會澤高圧コンクリート株式会社の  
「aNET ZERO イニシアティブ」  
に加盟



2045  
特殊混和材  
使用による  
セメント量低減

2045  
特殊混和材が  
CO<sub>2</sub> を吸収・固化

2045  
CO<sub>2</sub> を吸収させた  
骨材を使用

株式  
会社



上田コンクリート工業所

<http://kkuedack.jp/>